碁老連ニュース

第１７５号

碁老連の目的

老人囲碁同好会の誰もが､活きいきと生命力を維持し“碁を楽しむ”ことができるよう､機会と場所を確保するために相協力し､囲碁を通じて親睦をはかり､更には､より良き福祉社会に貢献することを念願する。

発行日　平成 18 年 2 月 25 日
発行所　八王子の碁を楽しむ老人連合
住　所　久保山町１－９－３－３０３
ＴＥＬ　（０４２６）９２－３９７３
発行人　松田　礼治
編集者　渡辺己三男

http://www.asahi-net.or.jp/~jh8r-mtd/gororen/

総会のご案内

日　　時　平成 18 年 4 月 9 日（日）　午後 1 時 00 分～4 時 00 分
会　　場　東浅川保健福祉センター４階第６集会室（東浅川 551-1、電話：67-1331）
参 加 者　技術顧問、碁老連会長、碁老連会長補佐、碁老連副会長、業務運営室長、業務運営室員、各地区寿囲碁同好会会長・会長代理、研修会事務長
議　　題　平成１７年度活動実績報告、会名変更(案)審議、規約改正(案)審議、平成１８年度活動計画(案)審議、質疑応答

第16回活きいき囲碁淺川大会のご案内

日　　時　平成 18 年 4 月 2 日（日）　受付午前 9 時 00 分～9 時 30 分(厳守)
会　　場　横山南市民センター（椚田町137-3、電話66-0031）
主　　催　淺川寿囲碁同好会（会長 堀口 哲　高尾町 1626 電話 61-8428）
後　　援　八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院
参加資格　八王子市に在住している 60 歳以上で 10 級以上の囲碁愛好者
参 加 費　７００円（弁当代を含む）
競技方法　２ないし３のクラス別に行い入賞者に賞状を贈呈する。
注意事項　①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。
②所属区域以外から参加される方は主催同好会会長の承認を得てください（申込先　会長代理 望月誠一　電話 63-9758)。
③失格にならないように定刻においでください。

活きいき囲碁地区大会参加資格の緩和

今期から**優勝者以外は何回でも出場可能**となりました。

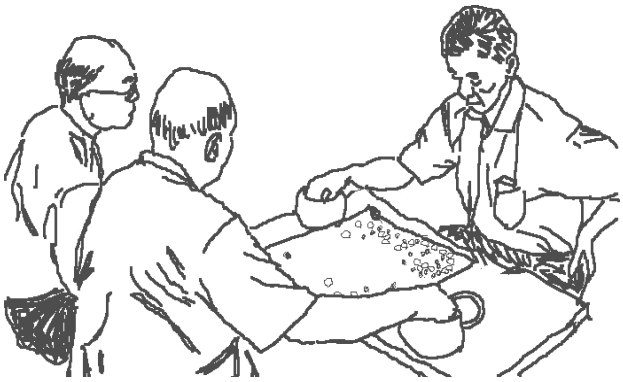
棋聖大賞大会　成績表（１月２９日）

優　勝　　永安浩二/技術顧問
準優勝　　徳永終七郎/技術顧問
第３位　　山県永知/技術顧問

参加者（２５名）
徳永終七郎/技術顧問　永安浩二/技術顧問　山県永知/技術顧問　名取豊彦/技術顧問
勝山恭男２段/石川会長　豊田弘伯５段/大和田会長　山崎　稔３段/恩方会長
刀根正樹３段/北野会長　石川義秋５段/長房会長　佐宗源治６段/元八王子会長
真田誠次７段/淺川　城大次郎７段/淺川　藤井忠明７段/大和田　五十嵐寛７段/恩方
吉沢　實７段/恩方　森田哲三７段/恩方　塚原和利７段/長房　光岡宏志７段/由井
信江　峻７段/由木　三上靖宏７段/業務運営室長　山崎修司４段/碁老連副会長
市川隆一５段/碁老連副会長　渡辺己三男２段/碁老連副会長　岸村　佐４段/業務運営室大会担当　中村幸男５段/研修事務長

成るべく技術顧問にご指導いただく機会を増やすため予戦は全て技術顧問と会員の対局にしました。結果は会員側０勝１５敗（三浦相談役の指導碁を含む）で、格の違いを見せ付けられました。このような素晴らしい技術顧問にご指導いただけ感謝！感謝！

ハンディ戦ですからせめて１～２勝は！来年度は高段者の奮起を！



タイトル争奪戦　成績表（２月１２日）

八王子名人　　真田誠次７段/淺川

参加者（１８名）

真田誠次７段/淺川　下重利雄６段/淺川　杉渕　清４段/由木　喜多村靖事７段/由井
光岡宏志７段/由井　古賀照也５段/北野　青木耕榮２段/北野　安西　実４段/長房
浅野照明６段/中野　佐藤久雄初段/大和　大里　宏２級/大和　小林　實初段/台町
中村順二２段/石川　田村　強初段/石川　郡司弘一５段/元八　清水　勇５段/元八
五十嵐寛７段/恩方　吉沢　實７段/恩方

八王子王座　　渕上和男７段/恩方

参加者（１６名）

木村一男６段/淺川　網野修助２段/淺川　松浦辰寿６段/由木　大藪成人６段/由井
山崎修路４段/由井　山縣文雄６段/北野　笹本梅吉２段/長房　橋本惇二６段/中野
中村　靖２段/中野　八木義光４段/大和　細田正光４級/大和　三上靖宏７段/台町
松本健彦６段/石川　藤森立喜４段/元八　渕上和男７段/恩方　福田　卓６段/恩方

八王子天狗　　高索信行６段/淺川

参加者（１９名）

高索信行６段/淺川　高橋明善６段/淺川　唐木　伸２段/由木　木所敏雄２段/由井
武藤至輝４段/北野　波多野博３段/北野　松井　豊４段/長房　浜中訓行初段/中野
霧生孝男３段/大和　石田利雄２段/大和　山崎修司４段/台町　市川公雄３段/台町
石川幌二２段/石川　市村光彦１級/石川　山下則文６段/元八　吉田征也６段/元八
山崎　稔３段/恩方　荒井　正３段/恩方　斎藤吉明２段/長房

タイトル争奪戦　気付いた事

時計の使い方

１．Ａが時計を押す前に、Ｂがすばやく着手する（時計は押さない）。Ａが時計を押そうとすると貴方の手番だから着手してから時計を押せとクレームをつける。この繰り返しでＢは全く時間を使わず打てる事になる。

こういう時計の使い方については日本囲碁規約には定めがないようである。定のないものについては、審判が処理する事になっており、当然Ｂの反則負けになりましょう。更に悪質な場合には除名も考えられます。審判に申し出ていただけば直ちに対処いたします。

　コミュニケーションの場です、和やかに対局しましょう！

２．設置された時計を使わないペアがありましたが幸い時間内に終了し事なきを得ま

した。時計を使う使わないはペアの自由ですが、終了時間までに勝者から報告がなければ両負けです。競技係りの説明をよく聞きご注意の程を！

代理出席

ニュース１５７号記載のように昨年度、王座戦、天狗戦については届出準優勝者も代理出場できるように出場資格を緩和いたしました。今回２寿同好会から代理出席の依頼がありましたが準優勝者の届出がなく、受付出来ませんでした。準優勝者の届出は優勝者が出場不能の場合の保険です、必ず届け出ましょう。勿論義務ではありません。また本部側も受付の時に注意してあげるようにしましょう。

時間を守る！ルールをまもる！世間に誇れる碁楽連に！

三位決定戦

今回のタイトル争奪戦は競技係、参加者のご協力の結果、非常にスムーズに進捗致しました。タイトル争奪戦なので三位決定戦はありませんが本部側の不手際から三位決定戦を始めたところがありました。お詫びすると共に今後このような間違いの起こらぬように注意いたします。

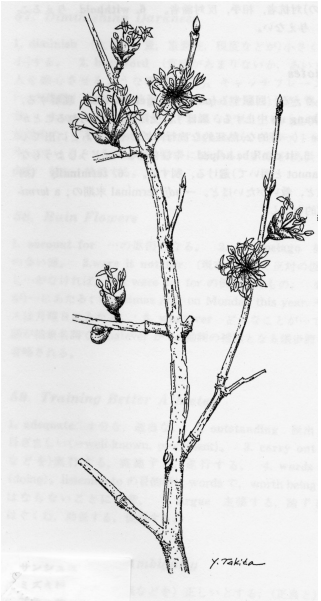
碁老連会長補佐　竹島正義氏　住所変更のお知らせ

２月２４日より元の住宅に復帰されました。

復帰住所　　南大沢５－９－１０－６０１

電話・ファックス　　０４２６－７５－１５８１

Ｅメールアドレス　　7z9u63@bma.biglobe.ne.jp



ホームページクリエーター募集

コンピューターと碁将棋

やまゆり囲碁同好会会長　三浦 隆郎

昭和４７年市ヶ谷に日本棋院会館が落成したとき、記念行事の一つとして大会議室で囲碁ファンを前に、初めての試みとしてコンピューターとアマ初段の女性が詰碁に挑戦した。ふところの広さが１０目くらいの問題が二つ出された。

まず第１問、制限時間は１０分であった。５分ほど経過すると、女性は手を挙げて大盤の前に進み、石を並べた結果正解であった。その時点でコンピューターに尋ねると「思考中です。」と答えてコンピューターは見事に負けた。
続いて２問目に挑戦したが、やはり同じくコンピューターの負けであった。　そのときの解説者は、ふところの広さが１０目の詰碁の着手数は十の階乗になるので３６２万８千通りとなり、仮に１分間に数万手読んでも長時間かかり、ひらめきで着手を絞って考える人間には勝てないとの解説であった。

その後 コンピューターは飛躍的に進歩し、オフコンからパソコンの時代に入り、ひらめきについてもプログラムにパターン化したものを組み込んで活用し、手数も１分間に１０万手、数１０万手位は楽に読めるようになったが、１９路盤での勝負になるとその着手数は依然として天文学的数字になるため、まだまだコンピューターは囲碁の世界ではせいぜいアマ初段か二段位に留まっているようだ。

一方、将棋の世界ではコンピューターがなじみ易いのか、市販のソフトでもアマ四～五段位の力を持っているものが多数出回っている。

特筆すべきは昨年５月「世界コンピューター将棋選手権」戦で日本人の鶴岡氏が開発した「激指」と云うソフトが優勝し、６月に東京で開かれたアマ竜王戦全国大会に都道府県代表に交じって特別出場したことです。やり方は開発者を一方の対局者に見立てて２人が盤面に向かって座

り、開発者側にはコンピューターを置いて１手々々入力しながらその画面通り将棋を指すと云うやり方です。結果は、見事予選を勝ち抜いて決勝トーナメントに駒を進めてベスト１６に入り、将棋の世界では県代表クラスと互角に戦える力を示した訳である。

また面白かったのは昨秋将棋連盟の主催イベントの中で、森内俊之名人と山下宏氏が開発しコンピューター将棋王者決定戦で優勝した「ＡＩ将棋」が角落ち戦で対戦し、森内名人が辛うじて勝利をおさめたことです。やはり県代表クラス同等以上の力を十分に発揮した証明でした。

チェスの世界では、数年前にプロの世界選手権者がコンピューターに敗れて、その後チェス世界選手権戦の開催は注目されなくなってしまった。　コンピューターは今後もますます進歩すると思われるので、やがて囲碁の世界でもアマチュアはコンピューターに勝てなくなる時代が来るかも知れない。

しかし、囲碁は別名「手談」とも云われ、人との繋がり、触れ合いを重視する勝負事である。コンピューターが如何に強くなろうとも、コンピューターとは手談はできないと改めて自分に言い聞かせて納得している昨今である。

三浦さん投稿有り難うございます。

やまゆり囲碁同好会は年齢、性別制限なしの会員約３０名の囲碁同好会で川口町のやまゆり会館を拠点として活躍されています。囲碁大会では松田会長開発のスイス方式進捗管理プログラムをお使いになっています。また恩方寿同好会とも交流があり年に何回か碁会を共催されているそうです。私たち碁老連としても、やまゆり囲碁同好会、八王子囲碁連盟等の囲碁団体と情報交換・協調して八王子での囲碁の普及に貢献していきたいと思っています。

初期の世界アマ選手権大会の外国人参加者にはコンピューター技師、数学教師が多かったようです。アルゴリズムの問題として興味があったのでしょうか。現在、コンピュータープログラムは詰碁では虱潰しに調べられるためかプロの見落としを指摘できるレベルになっているようです。１９路盤の対局では厚みとか、地模様や劫の評価が難しいようですが近い将来、私たちアマチュアが負かされる日が来るでしょ